

JACET関西支部 2019年度第1回支部講演会

The JACET Kansai Chapter First Lecture Meeting
of the 2019 Academic Year



- 2019年度第1回支部講演会を下記の通り開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。
- JACET会員は参加費無料です。非会員は500円をお支払いください。事前申し込みは不要です。
- Fee: Free for JACET members and 500 yen for non-members. No need to pre-register.
- 会場は三宮（三ノ宮）駅から地下街を通り【A8出口】【神戸国際会館】への矢印の方向へお進みください。詳しくは <https://www.kih.co.jp/access> をご参照ください。

Date: 2019年6月22日（土） 15:30-17:00

Saturday, June 22, 2019, 15:30-17:00

Venue: 神戸国際会館 704号会議室

Room 704, Kobe International House

**Title: ディープラーニングで進化する機械翻訳：
何ができて、何ができないか**

Evolving Machine Translation using Deep Learning: What you can do with it.

Lecturer: 井佐原 均先生 (豊橋科学技術大学)

Professor Hitoshi Isahara
(Toyohashi University of Technology)

Lecturer

井佐原均（いさはらひとし）先生



国立大学法人豊橋技術科学大学情報メディア基盤センター長・教授。大学卒業後、通商産業省工業技術院電子技術総合研究所（現、産業技術総合研究所）、郵政省通信総合研究所（現、情報通信研究機構）において、機械翻訳をはじめとする自然言語処理技術の研究開発に従事。NICT JLE コーパス、日本語話し言葉コーパス（CSJ）、日本語ワードネットなどの開発を行う。アジア太平洋機械翻訳協会会長、機械翻訳国際連盟会長などを歴任。現在、（一社）言語データ活用コンソーシアム副会長、（一社）通訳品質評議会理事などを務める。「機械翻訳システムの社会実装技術の振興」の業績に対し、平成31年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞（科学技術振興部門）を受賞

Abstract

将棋や囲碁などのゲームで人間に勝つようになった人工知能は多言語コミュニケーションにどのように役立つでしょうか。2016年末にMicrosoftやGoogleがニューラル機械翻訳という新しい人工知能型の自動翻訳システムでのサービスを開始しました。ニューラル機械翻訳システムは人間と同じ程度の翻訳能力を持つと言われていています。

この講演で私は機械翻訳システムの技術を紹介するとともに、ゲームに勝つことに比べて、言語を理解することがコンピュータにとって難しい理由を説明します。人工知能型翻訳システムの現状を、実際の翻訳例を用いて、その長所と弱点を示しつつ解説し、機械翻訳の長所を活かして実社会で利用する方法についてお話しします。

機械にできることとできないことが明確になれば、機械にできることは機械に任せましょう。機械翻訳システムが対応できない分野・場面でのコミュニケーション能力の向上を支援することが、これからの語学教育の役割かもしれません。この講演を通して、そのような方向性が見えてくればと思っております。

- ▶ 使用言語は日本語です。質疑応答時は英語・日本語どちらでも可です。This lecture will be given in Japanese. The Q&A session will be bilingual.
- ▶ For English information, please visit the JACET Kansai Chapter Website (<http://www.jacet-kansai.org/>).